進 路 だ よ り



令和８年11月11日
発行：進路指導部
文責：奥山遥



後期が始まり、1か月が過ぎました。あっという間に後期中間考査ですね。前期の成績を振り返り、みなさん自身、自分の強みや弱みが少しずつ見えてきているのではないでしょうか。後期中間考査に向けた準備はできていますか？

進路だよりでも何度かお伝えしていますが、考査は点数を取ることだけが目的ではありません。**自分が何を理解できていて、何を理解できていないのかを明確にし、今後の学習につなげること**も大切な目的の1つです。思うような点数が取れなかったとしても、そこで終わりにするのではなく、なぜ間違えたのか、どこで理解が不十分だったのかを振り返ることが大切です。その積み重ねが、少しずつ自分の力になっていきます。本校では、一般教科に加えて看護教科も学ぶため、試験科目が多く、計画的な学習が欠かせません。この計画的に学習する力は、看護師国家試験を受験する上でも大切な力です。看護師国家試験では、5年間で学んだ幅広い知識が問われます。考査の直前だけ学習して覚えた知識では、時間が経つと忘れてしまうことも多いのではないでしょうか。だからこそ、本科生のうちから計画的に学習する習慣を身につけ、学んだことを繰り返し復習することを大切にしてほしいと思っています。

授業の中では、先生方が大切なポイントをみなさんに伝えてくれています。ただ覚えるだけではなく、【なぜだろう？】【どうしてそうなるのだろう？】と疑問をもち、その理由を考えながら学習を進めてみてください。特に看護の学習では、知識を覚えるだけでなく、その知識を患者さんの状態や必要な援助と結びつけて考えることが大切です。今、学んでいることが、将来どのような場面で役立つのかを想像してみると、学習への向き合い方も少し変わるかもしれませんね。

「覚えるための勉強」から、「理解し、考えるための勉強」へ。

今回の考査が、自分の学習を振り返り、次の成長につながる機会になることを期待しています。

